

第 64 回全日本学生弓道選手権大会

個人予選 手伝い要項 (男子)

*受付

手伝い要項	1
個人戦立組表 (記録用紙 A)	1+参加校数
ボールペン	赤 2 黒 2
ポストイット	大 2

- ・ 選手の出欠を取り、個人戦立組表と同時に該当するゼッケンを渡す。
- ・ 選手が受付に来たら次のことを言う。
 1. ゼッケンは大学ごとに全てまとめて午後の二次予選終了後に返却すること。
 2. 予選を通過した場合もゼッケンは返却すること。
 3. ゴミは必ず自分で持ち帰ること
- ・ 欠席者を立組表の 1 次予選の欄に赤で「欠」と記入し、**招集と記録に欠席者のゼッケン番号を報告**する。
- ・ ゼッケンを無くした者がいたら、直ちに学連役員もしくは会場責任者に報告する。
- ・ **午後の予選終了後に全てのゼッケンを回収**し、立組表と照合して回収漏れの無いようにする。

*掲示

手伝い要項	1
個人戦立組表 (記録用紙 A)	1
予選用模造紙	2
	(予備 1)
養生テープ	1
マジック	黒 2 赤 1
白紙	3
スティックのり	1
はさみ	1

※ 模造紙の記入訂正方法
模造紙に記入ミスがあった場合は、白紙をはさみで切り取り、その部分に貼付けて下さい。

- ・ 記録に随時、予選通過者表を取りにいき、模造紙に記入。その通過者表を招集に渡す。
(模造紙記入) 1 次予選通過→模造紙に通過者のゼッケン番号を記入。通過者表を招集に渡す。
2 次予選通過→既に模造紙に書かれたゼッケン番号の、二次予選通過者に**赤**で○を記入。

【模造紙の記入例】

	大前	二的	三的	四的	五的	六的	落前	落
1	12	14	15	18	21	22	23	26
2	31	33	35					
3								
4								
5								
6								
7								
8								

※上図を模造紙記入例とすると、1 次予選通過者はここに書かれた番号全て(12~35)。左上から 1 次予選通過者を詰めて記入していくと、次の 2 次予選の立ち順が出来上がる仕組みです。2 次予選の通過者は図中の赤丸のついた 4 人(12,15,23,35)となります。

* 的前審判

手伝い要項	2
全日学連規約	1
的中判定指針	2
的中確認方法説明書	2
矢拭き布	4

- ・ 中の判定は全日学連規約とその最終頁に付随する的中マニュアルに従う。
- ・ 的中表示は的中出しで行う。(看的表示板が使用できる会場はそれを用いる)
- ・ 不明確な矢は的中を水平に出す。
- ・ 行射終了後、**矢を取る前に**記録に向かって確認を行う。
※確認前に矢に触れた場合、その矢は無効となるので注意すること
- ・ 矢取りは素早く丁寧に行い、矢はすぐに矢立に戻す。

* 招集

手伝い要項	2
個人戦立組表 (記録用紙 A)	2
ボールペン	黒 2

- ・ 受付から選手の出欠を聞き、**立組表に欠席者を記入しておく。**
- ・ 選手の招集、名前とゼッケン番号の確認、入退場の指示をする。
- ・ 欠席者がいた場合、**1次予選では欠番はつめずにあけておく。**
- ・ 常に受付と連絡を取り、欠席者は招集しない。また、出席者で招集しても集合しない選手がいる場合は直接呼びに行く。
- ・ 1人は第一控えの選手をそろえるために道場内に、もう1人は第二控え以降の選手を集めるために道場外に位置する。
- ・ 1次予選終了前に、模造紙記入に使用した1次予選通過者表を掲示から受け取り、2次予選の招集をする。
- ・ 1次予選終了後、道場外の招集はすぐに1次予選通過者を第二控えにそろえる。
- ・ 道場外の招集は、第二控えに選手がそろい次第、以下の事柄を説明する。
 - (1). 1次予選では欠番はあける。
 - (2). 1・3・5・7同時打起し。前の選手よりも早く離れた矢は無効となるので注意すること。
 - (3). 立射で行射
 - (4). ゼッケンは右腰につけ、番号がしっかり見えるように、裏返りは直すこと。
 - (5). ゼッケンは通過不通過に関わらず、大学ごとにまとめて午後の2次予選終了後に全て返却すること。
 - (6). 決定退場は行わないこと

※(2)~(6)は2次予選でも伝えて下さい。

*記録

手伝い要項	1
全日学連規約	1
的中判定指針	1
的中確認方法説明書	1
記録用紙記入例	2
個人戦立組表(記録用紙 A)	3
2次予選記録用紙(記録用紙 B)	3
1次予選通過者表(記録用紙 C)	5
2次予選通過者表(記録用紙 D)	3
双眼鏡	1
ボールペン	赤3黒3

- ・ 受付から選手の出欠を聞き、立組表に記入しておく。
- ・ 1人が前立ち4人、もう1人が後立ち4人を受け持つ。
- ・ 的中は自分の目で見て確認し、的中審判の的中出しと異なる場合には、学連役員の指示を仰ぐ。
- ・ ○×式で記録をとる。予選通過者には通過欄に→印を記入する。
詳しくは**記録用紙記入例を参照**のこと。
- ・ 選手のゼッケン番号をよく確認する。
- ・ 記録は、今後保存される正式記録となるので、丁寧に記入すること。
- ・ 記録に誤りがある場合は**赤で訂正**する。
- ・ 記録用紙を書きながら通過者表に通過者番号を記入していく。その通過者表は埋まり次第、掲示に渡す。
- ・ 的中の確認としっかり記録合わせをする。
- ・ 2次予選が終了したら、2次予選通過者表を書き上げる。